

令和5年5月16日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

**豊川特別支援学校本宮校舎とヨーキ産業株式会社が協力！！
市制施行80周年記念グッズ「植物用活力液」を制作しました**

豊川市が令和5年6月1日に市制施行80周年を迎えるにあたり、未来の豊川市を担う高校生と市内企業が協力し、市制施行80周年記念グッズ「植物用活力液」（令和5年3月23日付け記者発表「消臭木」に続いて第2弾）を制作しました。暮らしやすく、「元気なとよかわ」が未来へ向かって、さらに飛躍・発展することを願い、取り組みました。

なお、市内企業とは、豊川市が毎月発行する「広報とよかわ」の「モノ、ヒト、シゴト」に掲載した企業で、ナンバーワンシェア、またはオンリーワン技術を持つ企業になります。

記

**1 市制施行80周年記念グッズ
「植物用活力液 35ml × 10本」**

植物に良い成分をバランスよく配合しており、土に差し込むだけで、植物が元気になります。内容は、プラスチック容器に35ml入ったものが、10本入っています。



市制施行80周年記念グッズ「植物用活力液」

2 協力高等学校、企業

市内高等学校と「モノ、ヒト、シゴト」掲載企業に意向確認し、マッチングを行った結果、以下の高等学校、企業にご協力いただきました。

**(1) 豊川特別支援学校本宮校舎 文化部
パッケージデザインの提供**

部員全員、豊川市の傘寿をお祝いしたい気持ちで取り組みました。豊川市は花が多く、植物をさらに元気に、またそれを見た人も元気になればと思い、協力しました。



豊川特別支援学校本宮校舎 文化部

(2) ヨーキ産業株式会社

植物活力液を制作

- ・昭和 54 年創業の園芸資材メーカー
- ・植物活力液は国内トップシェア
- ・会社ホームページ

<http://www.yorkey-sangyo.jp/>

- ・参考：広報とよかわ「モノ、ヒト、シゴト」2022. 4月号
- ・コメント

園芸資材を製造しているメーカーとして、地元で生産している花き植物を簡単に、手軽に育てられることをPRしたいと思い、今回取り組みました。皆さんのご家庭で植物栽培を楽しんでいただければとても嬉しく思います。

3 デザインへの想い

(1) 表面デザイン：筒井 克季（つつい かつき）さん（3年生）

- ・豊川市は花が多く、山もあり、多くの方が遊びに行く様子など楽しい雰囲気にした。
- ・活力液のロケットが豊川市の上空を通ることで、さらに元気になってほしいと願いを込めた。

(2) 裏面デザイン：森田 瑠南（もりた るな）さん（2年生）

- ・生まれ育った豊川市は様々な花が咲き誇り、将来も花がいっぱいの豊川市であってほしいと願いを込めた。
- ・青空や太陽、花など明るい色合いにして、見ていただいた方を元気にしたい。



4 個数

5, 000個



5 配布

以下の市制施行80周年記念事業等で無料配布します。

配布日	事業名、配布個数	場所	一般参加
5/20（土）	愛知県・豊川市植樹祭 500 個	総合体育館ほか	×
5/27（土）	市民まつり「おいでん祭」 300 個 ※市野球場内の豊川特別支援学校本宮校舎のブース で、午前 10 時より、豊川特別支援学校本宮校舎 の生徒の手で配布しま す。	豊川公園周辺	○
6/3（土）	市制施行 80 周年記念式典 1,300 個	文化会館	○ 秘書課が配布す る整理券が必要
9/2（土）	モノ、ヒト、シゴト博覧会 （仮称） 300 個	赤塚山公園	○

その他の配布予定については、市ホームページ、市公式 SNS で
随時お知らせします。

<http://www.city.toyokawa.lg.jp/kiratto/citysales/genki20230512.html>



【お問合せ先】

豊川市役所 企画部 元気なとよかわ発信課 岩本、杉本
TEL:0533-95-0260 E メール：genki@city.toyokawa.lg.jp



モノ、ヒト シゴト

TOYOKAWA PRODUCE

豊川市が誇るモノづくりと、それに携わるヒト
を紹介します。

VOL.
36

容器を工夫し園芸を手軽に

ヨーキ産業株式会社
製造部・藤田 昌弘さん

トップシェアの液体活力剤

昭和54年創業、食品や薬品などのプラスチック容器や園芸用品の製造・販売を行うヨーキ産業。中でも、植物用の液体活力剤は国内トップシェアを誇る。

製造に携わる藤田さんは「家庭で植物を育てる人が増え、園芸が身近になった。だからこそ、初心者でも手軽に使える製品づくりを大切にしている」と語る。

容器づくりの技術を応用

植物の生育に必要な栄養を土に馴染ませ長期に供給する肥料と異なり、植物が吸収しやすい濃度に調整された活力剤は足りない栄養を素早く補うことができる。ヨーキ産業が活力剤の製造を始めたのは昭和61年。先代社長が園芸に関心があったこともあり、容器製造の依頼を受けていた活力剤を自社でも作ってみようという開発が始まった。

課題となったのは、植物にとって最適な栄養の配合を探ることだった。活力剤の配合を変えながら、パン

ジーなど5種類の園芸用植物を生育。植物に吸収されやすい配合を突き止めた。

また、活力剤には容器メーカーとしての技術も盛り込まれている。朝晩の寒暖差で容器が伸び縮みし、自然に活力剤が土に染み出るよう容器の厚さを0・1ミリ単位で調整。ふたには柔らかな素材を使用して割れなどを防いだ。その結果、土に挿すだけで一定のペースで活力剤が土に浸透し栄養が植物に供給される。こうして作られた活力剤は、初心者でも簡単に使える手軽さが評価され、全国の園芸店やホームセンターで販売されている。

世界中で園芸を手軽に

現在では、活力剤だけでなく除草剤や動物忌避剤なども手掛けるヨーキ産業。「海外では、希釈など、ひと手間必要な園芸用品が一般的。今後は海外に進出し、世界中で手軽に園芸を楽しむできるようにしたい」と話す藤田さん。容器にこだわりの誰が使いやすい製品を生み出し続ける。

ヨーキ産業株式会社

伊奈町北村156

1979年創業。食品などのプラスチック容器の製造・販売を手掛ける。1986年から、園芸用品の開発・製造を開始。中でも、植物用の液体活力剤は全国トップシェアを誇る。



1 容器の先端を切って土に挿すことで、植物の生育に必要な栄養が一定のペースで土に浸透する2 観葉植物やバラなど、植物に合わせた活力剤を展開3 0.1ミリ単位で厚さを調整し、製造された自社製の容器